



Architecture Presentasion

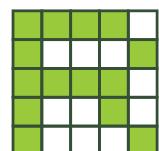
architect
Jin Kawazoe

河添 甚

Bauhaus Project



建築家と建てる家を、
身近に、手軽に



R+house

※建築家住宅(建築士の資格を持つ独立した建築家により基本設計された住宅)
主要供給事業者7社における2017年度、2018年度新築供給数
(株)矢野経済研究所調べ/2019年8月現在







担当建築家
河添 甚

Jin Kawazoe

河添建築設計事務所@東京

要望や条件をまとめる際のお客さまとの会話を大切にし、会話の中に見え隠れする希望や想いをできるだけ抽出できるよう心がけています。また、住宅のデザインについては機能と連動させシンプルなデザインとすることで使い勝手がよく、デザイン性の高い住宅設計を行います。

Profile

1977年 香川県生まれ

2001年 大阪工業大学建築学科卒業設計展 入賞

2002年 日本建築学会「全国大学・高専卒業設計展示会」出展作品

2002年 大阪工業大学工学部建築学科卒業

2003年 株式会社 プランテック総合計画事務所入所

2010年 河添建築事務所入所

2010年 東京テクニカルカレッジ（旧東京工科専門学校）非常勤講師

敷地面積：119.49 坪 (395.01 m²)

1階床面積：23.98 坪 (79.29 m²)

2階床面積：9.39 坪 (31.05 m²)

延床面積：33.37 坪 (110.34 m²)

1F

2F



鳥が羽ばたく 光の家

POINT①

光を取り込み、家族の気配を感じることが出来る吹き抜けのあるリビング

POINT②

隣家に入る光を遮らないよう配慮された 2 階

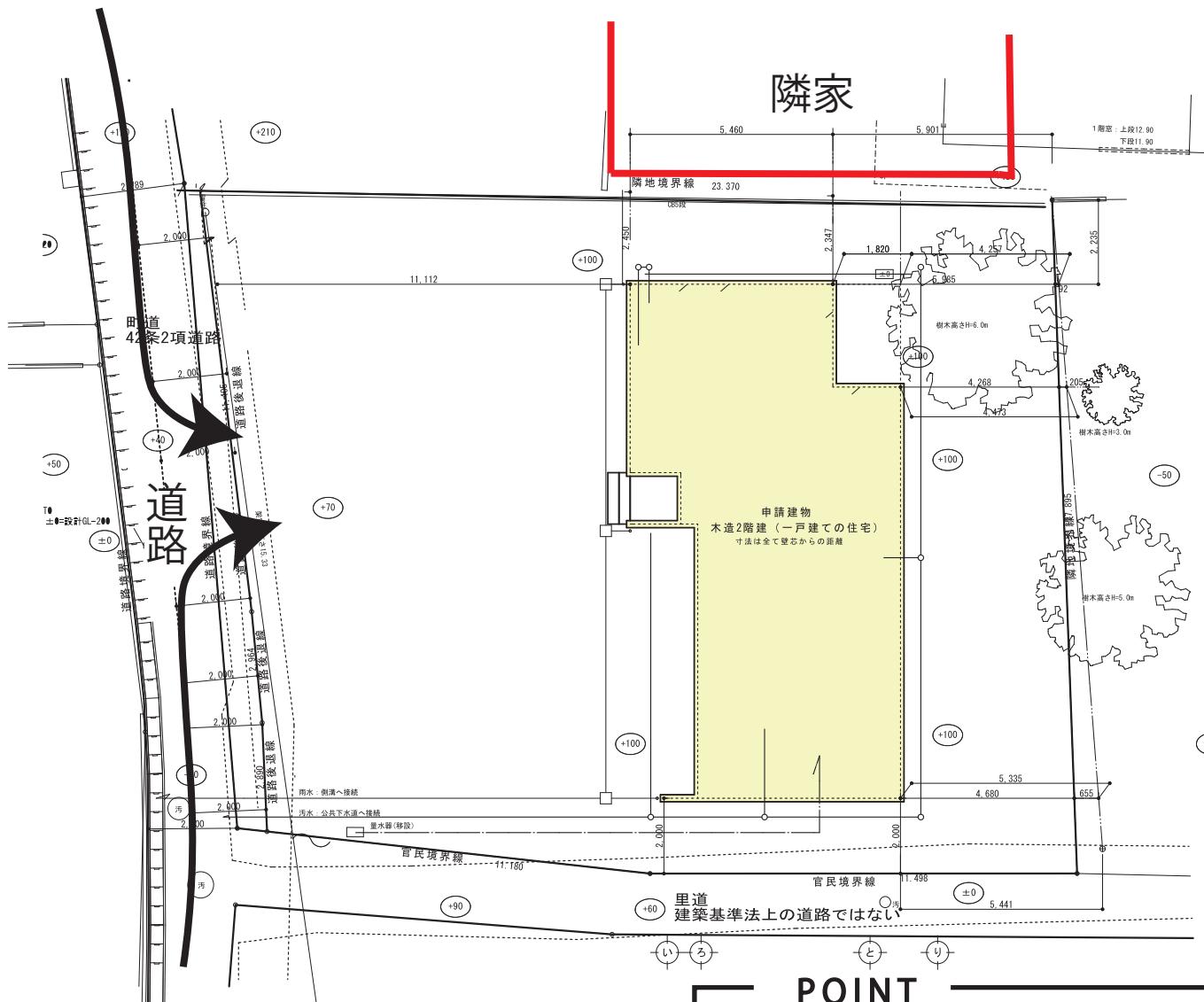
POINT③

庭の景色を眺めながら家事ができるキッチン

POINT④

LDK から 2 階にいる家族の気配を感じられる
「プライバシー」と「繋がり」を備えた間取り

配置計画



宋家

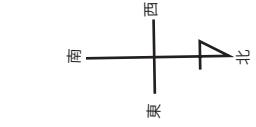
POINT

隣家の位置、玄関や窓の位置、高さ等も計測します。
そのデータをもとに建築家は現地を調査し、視線・風の抜け方・光の入り方、隣家や周辺からの見え方等を総合的に見て、その敷地に合ったベストな設計をします。

- 北側のご実家と西側に隣家からの視線を計算した窓配置
 - 敷地の南側には既に隣家が建っていることと、南側から暖かい太陽の光をたっぷり取り入れることを考慮し、距離をとった
 - 将来、南側の全面道路が拡張することを考慮し南側でアクセス出来るような駐車スペースと建物の配置。

ペット(鳥専用部屋)書斎・趣味部屋

FIX(開かない) 窓



くつろぎながら、書斎にいながら
鳥の様子を見れる

建築家 POINT
要望 +α の提案

鳥専用の部屋は優先度が高いので、いつでもどこからでも好きな時に様子を見る事ができるように玄関と書斎、リビングの延長線上につくりました。玄関入ってすぐなので、掃除もしやすく換気も十分にできるし、**大きな FIX 窓**を設けることで書斎で読書やゲームをしながらでもリビングでゆっくり寛ぎながらでもどこからでも鳥の様子を見ることができます。

書斎は、御主人が仕事を持ち帰ることもあるとのことなのでカウンターを広く取ることで、読書やゲーム以外でも自由に使っていただけます。

セキセイインコを3羽飼っているので部屋の中で自由に飛ばせる部屋が欲しい。普段いる部屋やリビングから見えるようになりたい。
あとは書斎兼趣味部屋！仕事を持ち帰ったり(御主人)、夫婦ともゲームをしたり読書が趣味なのでPCを固定で置いておけたり、集中して籠れるような落ち着いた場所があればいいな。



LDK・和室

圧迫感がなくて、広さを感じられるリビングにしたい吹き抜けがあって明かりがたくさん入る LDK が良いです！

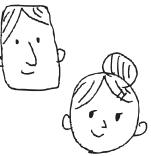
和室は、あってもなくてもいいがあれば困らないかなと思う。将来、仏壇を置くことも検討しているが、リビングの近くには置きたくない。できればロールスクリーンなどで隠せるようにしたい。

キッチン・パントリー

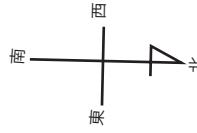
キッチンは対面式。整理整頓が得意な方ではないので使いやすい導線やパントリーは確保したい。



キッチン横には広いパントリーを配置。食材はもちろん食器などキッチン用品も十分収納できる。洗面、水回りからも行き来ができるので「料理の時間」に限らず洗濯の合間にちょっとパントリーの整理等、整理整頓しやすく使いやすいと思います。



建築家 POINT
**「広がり」と
景色の取り入れ方**



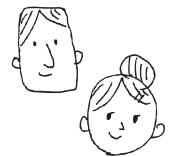
1階に広く縦長にリビング・ダイニング・キッチンをドーンとしました。南側に大きな窓を設け柔らかな光が沢山リビングに入ってきます。

また、ダイニング上に吹き抜けを配置。2階の窓からの光と風が降り注ぐ、明るい空間を作り出し、広がりを感じつつも自然と家族が集まる、心地よい場所になると思います。奥行のある「横の広がり」と、上部の吹き抜け「縦の広がり」で実面積より広く感じます。

和室は、使用頻度が少ないともったいないので、普段は扉を開けておけば、リビングとの繋がりを保ち、LDK がより広い空間に感じられます。

洗濯物干すスペース

クローゼット・寝室

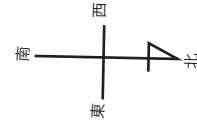
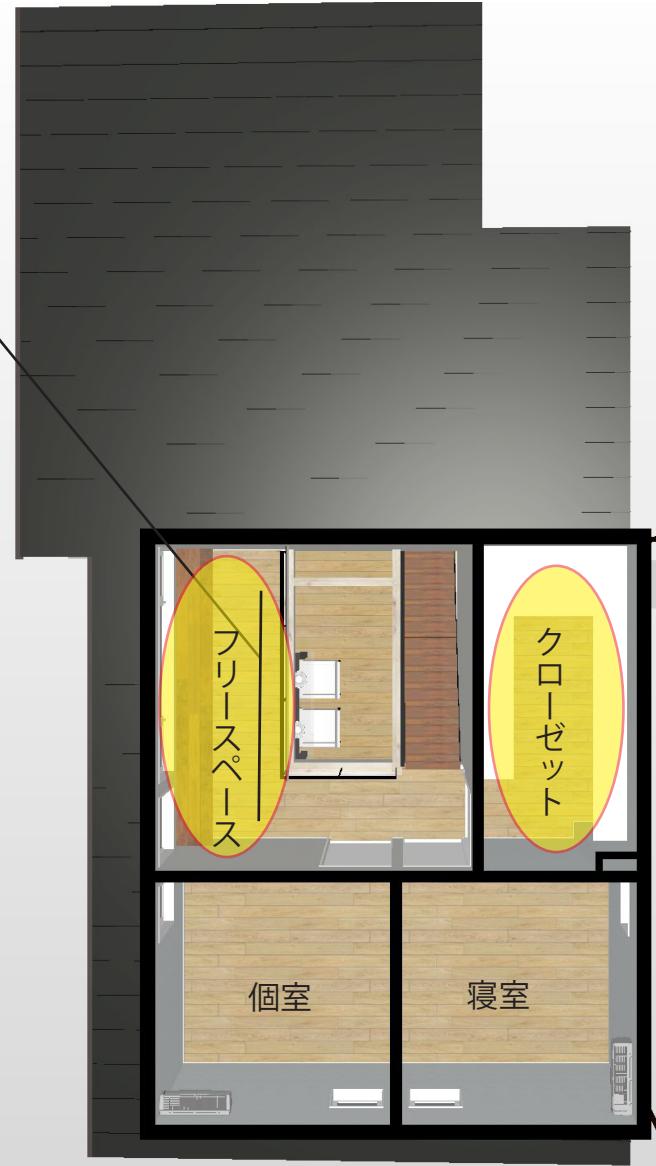


寝室と子供部屋は2階で良いです。
洗濯は、夜洗濯して室内干し派なので物干しスペース欲しい。

子ども部屋



今は具体的に子供は何人でいるのがないので、とりあえず1部屋は子ども部屋としてあったほうが良いかな。


建築家 POINT
動線・光のコントロール


2階は寝室と個室の2部屋+階段上がってすぐの寝室横にファミリークローゼットを設け南側は階段の吹き抜け横に物干しスペース兼フリースペースを設けました。1階との繋がりを活かして圧迫感を解消しています。風通りもよく広々としているので、洗濯物も乾きやすいですよ。カウンターではそのままアイロン掛けをすることも可能です。階段の手摺にはお布団を干すこともできます。洗濯干し→たたむ→収納するといった動線が短く済むので、時短になります。
また、吹き抜けもあるので、視線も抜けて



個室は子ども部屋として使うまでは奥様の趣味部屋として使ってもいいですね。子ども部屋を想定した個室は1部屋ですが、フリースペースで勉強したりということもできますので家族が増えても対応しやすいです。

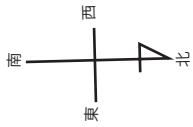
洗面・脱衣・収納



夜洗濯をして、御主人の作業着と分けて洗うので脱衣スペースは広めがいい。洗剤や掃除道具、鳥の餌などまとめて収納できるような広い収納が欲しい。



夜洗濯をすることなので、夜の忙しい時間でも家事を効率よくこなせるよう奥様が家事中によく立つ「キッチン」「ダイニング」の近くに配置しました。収納スペースとつながっているため洗剤などは隣の収納に洗剤や掃除道具等を収納すれば脱衣をスッキリ広々と使うことができます。収納を用途別に分けたので、「どこに何があるか」一目瞭然です。



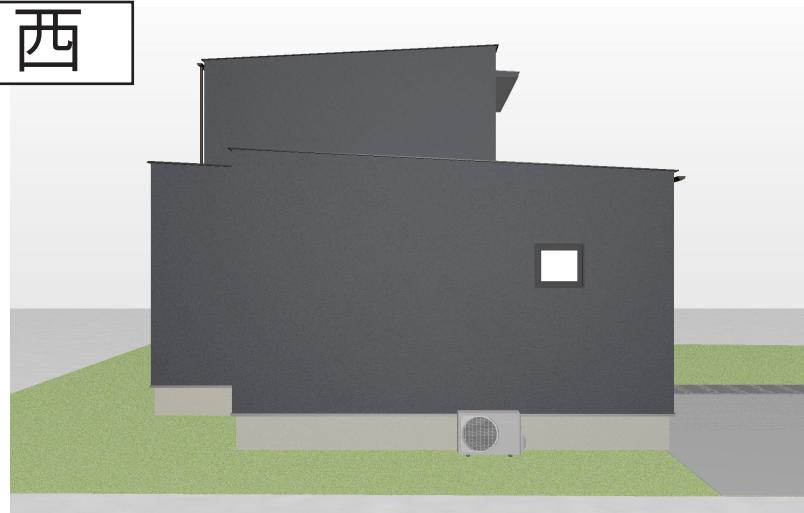
隣家や全面道路との距離を確保しつつ、太陽の光をたっぷり取り込める
よう大きな窓を配置。LDKと庭との一体感を感じることが出来る。
夏の日差しは庇を長めに出すことで遮ってくれる。

南



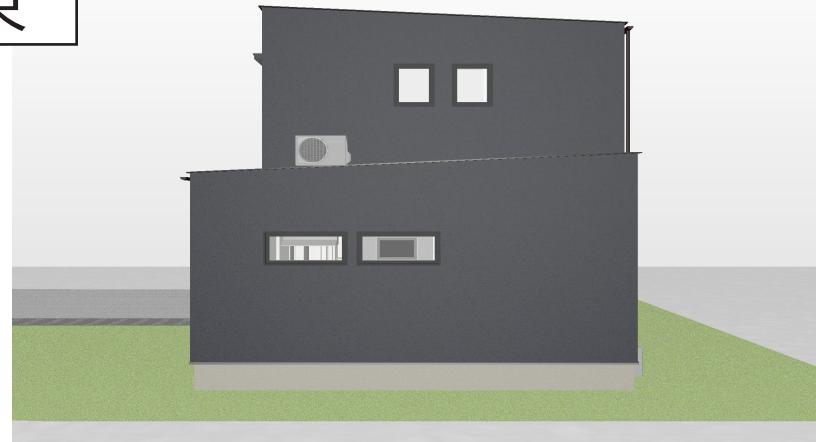
西側には隣家がある為、窓の位置が被らないようにするなど視線
に配慮された配置でプライバシー性を保っている。

西



東側は隣家と視線が被らない位置ではあるが、ご実家に入る為の
道路との距離が近い為、高めの位置に窓をつけ、光は取り込むが
外からの視線は入らないような窓位置。

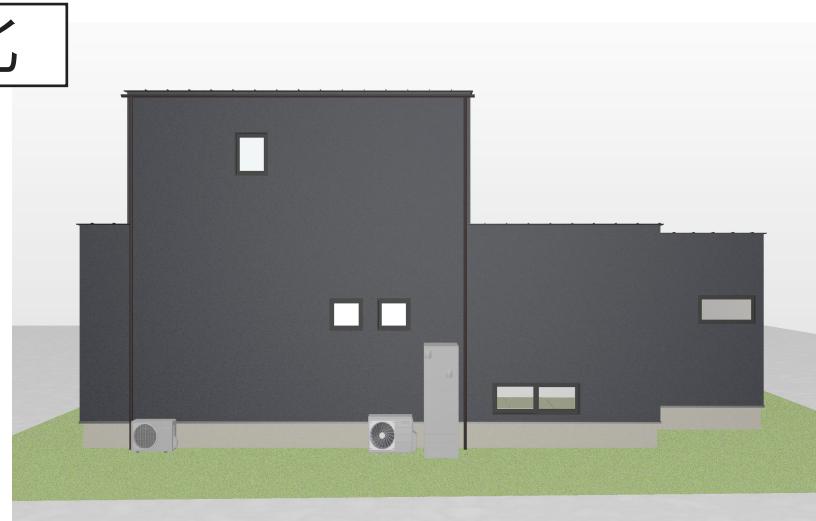
東



北側がご実家の為、お互いのプライバシーは考慮しつつ、ほどよい距
離感を大切にした。

1階は比較的目線が集まりやすく、浴室などプライバシーの高い部屋に
面しているため窓は少なめの配置に。

北



玉名郡風配図

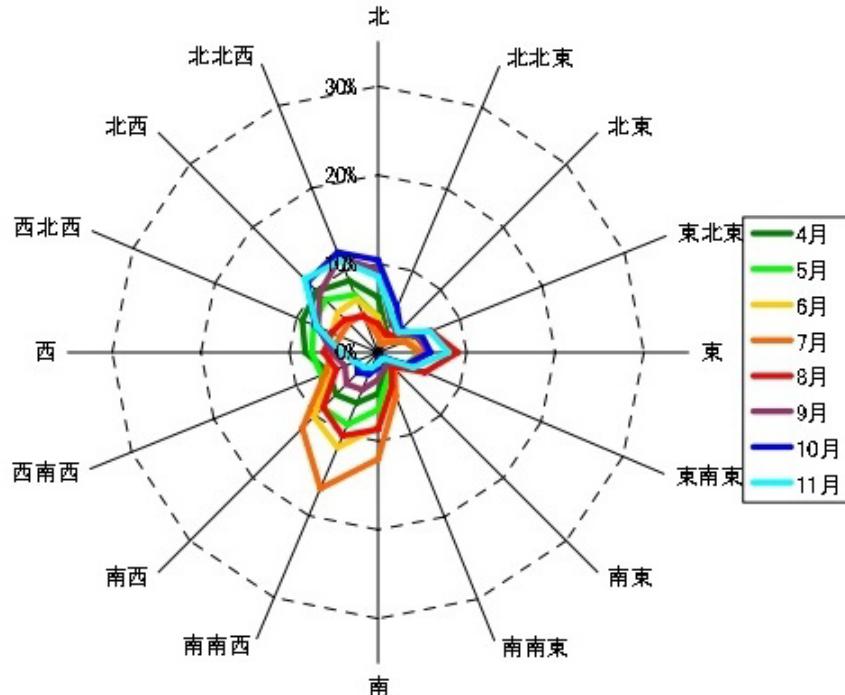


図4a 月別風配図(起居時)

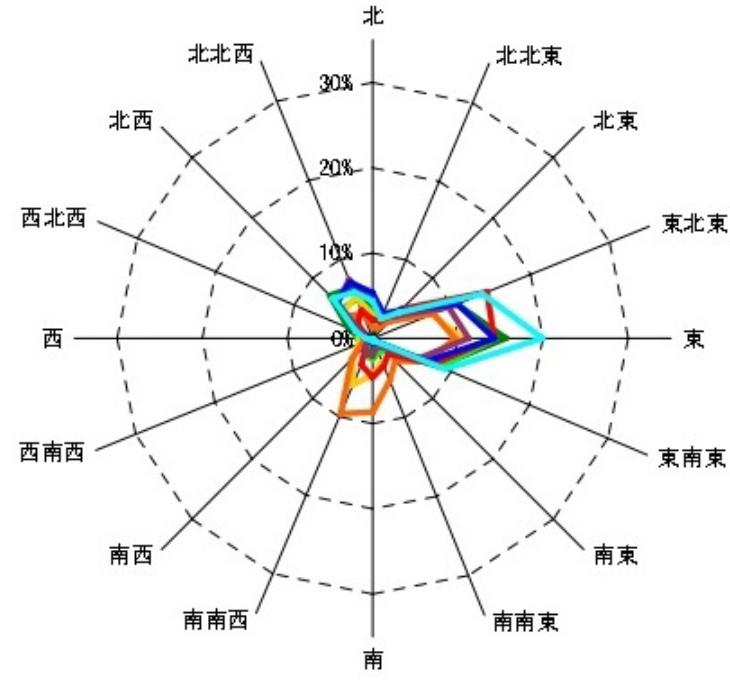
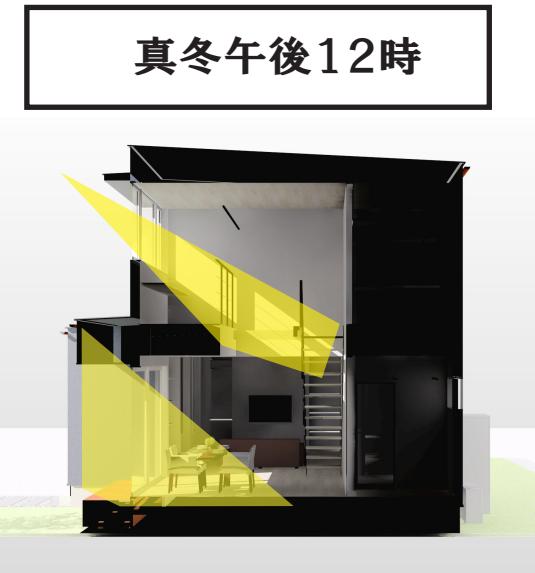


図4b 月別風配図(就寝時)

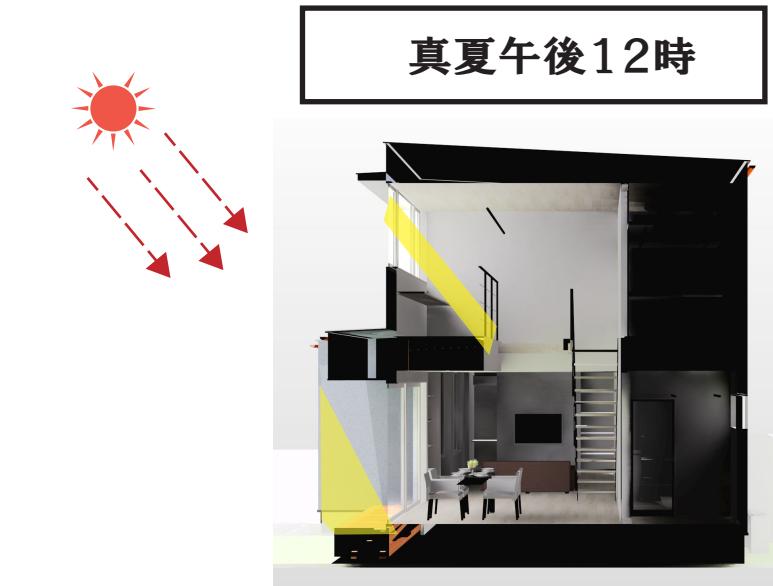
風配図とは、各方位の風向および風速の頻度を表した図です。

建築家は周辺の建物や環境を実際に目で見て、データと照らし合わせながら風の向きや、入り方なども計算して「窓の配置」「窓の種類」「建物の配置」を決めていきます。

冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく
自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。



(冬至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が低くなる為、太陽が西に傾く頃、窓から部屋の奥まで暖かい光を取り込むことができる。



(夏至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が最も高くなる為、軒を出して日射を遮り、室温の上昇を抑える。



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに変わる太陽の動きも熟知した上で設計します。